

第14回住宅系研究報告会プログラム

■主旨:

住宅・住宅系まちづくりのテーマは、建築社会システム・建築計画・都市計画・農村計画などで取り上げられ、大会では毎年多くの論文が発表されています。昨年度に引き続き、横断的な発表・討論の場を設定し、研究成果の共有、研究者間の交流を続けるため、第14回目の住宅系研究報告会を開催します。

報告会では発表・討論の機会を重視し、司会とは別にコメンテーターを設け、意見交換や議論を通してさらに研究や活動が発展することを意図しています。

また、第一日目にパネルディスカッションを開催し、総合的な議論の機会を設けます。

■日時:2019年12月6日(金)、12月7日(土)

■会場:日本建築学会建築会館・会議室

■全体プログラム:発表時間10分・質疑応答5分、コメンテーターによる講評15分

1日目 12月6日(金)	2日目 12月7日(土)
開会の挨拶・主旨説明 梅本舞子(筑波技術大学) 10:00~10:10	セッション4 「住宅の共同性とマネジメント」 5題 90分 10:00~11:30
セッション1 「住宅の平面構成の変容」 4題 75分 10:10~11:25	昼休憩 11:30~12:30
昼休憩 11:25~12:45	セッション5 「団地・地域のストック再生」 4題 75分 12:30~13:45
セッション2 「移住と定住の現在」 3題 60分 12:45~13:45	セッション6 「居住地開発とその影響」 3題 60分 13:55~14:55
セッション3 「社会的包摂と住まい・まちづくり」 6題 105分 13:55~15:40	セッション7 「災害後の居住地再建とコミュニティ」 5題 90分 15:05~16:35
パネルディスカッション 16:00~18:00	閉会の挨拶: 長谷川洋(国土技術政策総合研究所) 16:50~17:05
懇親会 18:30~	

■パネルディスカッション:子育て・子育てから考える多世代居住の生活環境―「ごちゃまぜ」を測る方法論を探る―

異なる世代や属性の人々が混在・共生する「ごちゃまぜ」を体現する施設のあり方が近年注目されています。この概念は、社会福祉から地域づくりへと展開していくことが期待されており、子育ての社会的な支援が進みつつあるなかで、「ごちゃまぜ」の取り組みの事例の多くで子どもの姿がみられます。

世代間の関係づくりをテーマとした昨年のパネルディスカッション「世代の“あいだ”を暮らす」を受け、今回は子どもに主な視点をおいて、異なる世代・属性の人々が混ざることの意義、またそれを実現することの可能性や課題について議論を継続します。住まうところや預けられるところを自ら選ぶことができない子どもにとって「ごちゃまぜ」はどのように評価できるのか、実践者と研究者をお迎えし、多世代居住の生活環境のあり方を探ります。

- パネラー: 森田眞希氏(NPO 法人地域の寄り合い所また明日), 西川英治氏(株式会社五井建築研究所)
- コメンテーター: 佐藤将之氏(早稲田大学), 小林秀樹氏(千葉大学)
- 企画・コーディネート: 内海康也(国土技術政策総合研究所), 小山雄資(鹿児島大学), 梅本舞子(筑波技術大学), 後藤千香子(東京大学), 山本幸子(筑波大学)

■報告会への参加費(PD参加費含む): 会員 3,000円、会員外 4,000円、学生 1,500円

■資料代: 5,000円

■定員: 70名(当日先着順)

■発表プログラム

1日目 12月06日(金)

セッション1 住宅の平面構成の変容

10:10～11:25

司会: 関川華(近畿大学)

コメンテーター: 藤岡泰寛(横浜国立大学)

01 (報告区分1)

公営住宅標準設計 51C 型成立に至るまでの経緯

○楮秋霞(筑波大学), 深井祐紘, 花里俊廣

02 (報告区分1)

現代独立住宅における和室への志向性の比較分析 一大分県内の都市性の異なる2都市を事例として

—

○西田航(大分大学), 和間美月, 西村幸太, 柴田建, 鈴木義弘

03 (報告区分1)

福岡県分譲集合住宅における和室の設置状況について

○和間美月(大分大学), 西田航, 西村幸太, 柴田建, 鈴木義弘

04 (報告区分1)

震災前後の住宅比較研究 一間取り・設えに着目して—

○手島あかね(宮城大学), 中山莉花, 綿貫琴子, 友淵貴之

セッション2 移住と定住の現在

12:45～

13:45

司会: 三笠友洋(西日本工業大学)

コメンテーター: 鈴木義弘(大分大学)

05 (報告区分1)

石垣島における地区別の居住動向とその特性に関する考察

—移住・定住及び転入者の前住地に着目して—

○瀬戸口由佳(神戸大学), 山崎寿一, 上村真仁, 山口秀文

06 (報告区分1)

公民館活動への参加資格に着目した地域コミュニティとIターン者の関係に関する一考察

—沖縄県石垣島の6集落の比較を通して—

○上村真仁(筑紫女学園大学), 山崎寿一

07 (報告区分1)

中山間地域における非居住住宅 「空き家」と「郷家」に着目したアンケート調査より—

○縄田諒(和歌山大学), 平田隆行, 戸田拳志朗

08 (報告区分2)

Share 金沢の設計理念・手法とその評価ー「ごちゃまぜ」理論に基づいた地域コミュニティ再生ー

○松尾信一郎(株式会社 五井建築研究所), 西川英治

09 (報告区分2)

B's 行善寺の設計理念・手法とその評価ー「ごちゃまぜ」理念に基づいた地域コミュニティ再生ー

○土用下淳也(株式会社五井建築研究所), 西川英治, 山本純平

10 (報告区分2)

輪島KABULETの設計理念・手法とその評価ー「ごちゃまぜ」理念に基づいた地域コミュニティ再生ー

○西川英治(株式会社五井建築研究所), 山崎寿一, 今井貴俊

11 (報告区分1)

輪島KABULET の住民参加型の取り組みの実態と変遷について

ーサービス開始一年後のフォローアップー

○小林純(神戸大学), 山崎寿一, 山口秀文

12 (報告区分1)

地域との関わりからみたシルバーハウジングの実態とその特徴ー神戸市兵庫区浜山地区を事例として

ー

○清水紗英(神戸大学), 春井秀雄, 山崎寿一, 山口秀文

13 (報告区分3)

重度肢体不自由者向け住まいの開設及び運営における現状と課題に関する研究

○山田義文(日本大学)

2日目 12月7日(土)

セッション4 住宅の共同性とマネジメント

10:00～11:30

司会: 深井祐紘(株式会社プレイスメイキング研究所)

コメンテーター: 前田昌弘(京都府立大学)

14 (報告区分1)

ドイツのバオゲマインシャフトによる住宅地開発の手法と住民参加の特徴

—ドイツ南西部の地方都市テュービンゲン市南区の開発を事例に—

○鄭弼溶(株式会社いるか設計集団)

15 (報告区分1)

ドイツ・テュービンゲン市のバオゲマインシャフトによる住宅地開発における共用空間計画の特徴

○羽柴優(神戸大学), 鄭弼溶

16 (報告区分1)

都心部立地の高経年コーポラティブ住宅群における運営履歴の解明

—同年代、同規模の特質を持つ「都住創」シリーズの比較を通して(2) —

○宮野順子(京都光華女子大学), 荒木公樹

17 (報告区分1)

シェアハウスの運営管理の実態と課題

○松林優奈(横浜市立大学), 齊藤広子

18 (報告区分1)

自治省モデル・コミュニティ施策の推移と都道府県の動向

○尾崎せい子(鳥取短期大学), 中野茂夫

セッション5 団地・地域のストック再生

12:30～13:45

司会: 山口秀文(神戸大学)

コメンテーター: 岡絵理子(関西大学)

19 (報告区分1)

民間開発団地における分譲時の住宅施工者と住民との継続関係に関する研究

—2団地の住宅管理段階の物販・工事の発注状況の比較を通じて—

○伊丹絵美子(大阪大学), 横田隆司, 伊丹康二

20 (報告区分2)

ストック活用型集合住宅団地の再編に資する住戸リノベーションに関する研究

—京都府八幡市UR 男山団地における実践報告—

○辻村修太郎(一般社団法人カンデ), 荒木公樹, 江川直樹

21 (報告区分1)

空き家再生まちづくりの発展に繋がる人材ネットワークの形成についての研究

—北九州市門司区清滝地区を事例として—

○吉田茜(西日本工業大学), 三笠友洋

22 (報告区分1)

マンション建替えにおける円滑化法容積率緩和特例の適用と従前規模維持の難度

○加藤研(筑波大学)

セッション 6 居住地開発とその影響

13:55～14:55

司会: 益尾孝祐(アルセッド建築研究所) コメントーター: 星卓志(工学院大学)

23 (報告区分1)

福岡県大牟田市における三井系企業による持家支援策が市街地に与える影響に関する研究

○足立壮太(東京大学), 大月敏雄, 谷口尚弘, 安武敦子, 橋本泰作

24 (報告区分1)

立地条件と入居者状況にみる郊外住宅団地に関する一考察

— 四日市市の郊外住宅団地を事例として —

○小野寺一成(三重短期大学)

25 (報告区分1)

中国瀋陽・都市近郊農村における土地流転と在住農家の階層化に関する考察

— 漢族集落・茨榆坨村(しゆいむら)を事例に —

○張然(神戸大学), 山崎寿一, 山口秀文

セッション 7 災害後の居住地再建とコミュニティ

15:05～16:35

司会: 内海康也(国土技術政策総合研究所) コメントーター: 長谷川洋(国土技術政策総合研究所)

26 (報告区分1)

地方過疎被災地の地域活性化に寄与する公的住宅分譲地に関する考察

— 能登半島地震から12年後の輪島市マリンタウン宅地を対象として —

○菊池文江(神戸大学), 山崎寿一, 山口秀文

27 (報告区分1)

東日本大震災被災地区の居住地再建後の近隣関係についての研究

— 震災前後の居住環境に着目して —

○中山莉花(宮城大学), 手島あかね, 綿貫琴子, 友淵貴之

28 (報告区分1)

支援世帯における大規模災害後の避難プロセスが及ぼす仮設住宅入居の要因

— 岩手県釜石市平田地区の仮設住宅団地入居者を対象として —

○水上俊太(東京大学), 井本佐保里, 新山雅人, 大月敏雄, 西出和彦

29 (報告区分1)

福島原発事故の発生に伴う避難指示の解除後における帰還者向け災害公営住宅等の入居者の生活実態に関する研究

○川崎興太(福島大学)

30 (報告区分1)

オープンコモンを持つ戸建て災害公営住宅における居住者の近隣との関係に関する研究

— 東日本大震災における岩沼市玉浦西地区を事例に —

○中村奎吾, 前田昌弘, 佃悠